

一般財団法人 白神山地財団  
第1回理事会 議事録（案）

日時：平成24年4月24日（火）18:30～  
場所：白神山地財団事務局

1. 開会宣言
2. 理事長挨拶
3. 議長選出：定款第7章 第35条の1により、理事長が議長となる。
4. 議事

1) 出席者の確認

〔出席者〕 理事：渋谷、門前、太田、大中、  
事務局：澁谷 オブザーバー：鶴見

〔欠席者〕 理事：斎藤、清藤、清藤（洋）

- 2) 定足数の確認：理事7名中4名出席（成立）
- 3) 資料の確認

4) 議事録作成成人並びに署名人の指名

議事録作成成人： 澁谷  
議事録署名人： 門前  
議事録署名人： 大中

5) 協議事項

●第1号議案 平成23年度事業及び決算書（案）承認の件：承認

【事務局】平成23年度の支出は財団設立及び登記に必要な経費とパーティ時の受付等である。収入はパーティ会費であるが、年度末3月31日時点で3件の未収金となっている。1件に関しては、4月に入金を確認されたが、残る2件（深浦町観光協会の飯島正和、森山文浩の両名）に関しては、3月30日付けで文書による催促もしているが、未だに未納状態である。

【門前理事他】改めて事務局から未納者両名に対して電話での催促を促すこと。

【事務局】了解した。

●第2号議案 平成24年度事業計画書（案）：承認

【事務局】本年度は財団と協議体がPR活動を柱とするほぼ同じような活動が予想されることもあり、対比できるよう工程表（案）とした。大きな山はフォーラム（東京開催）とプレシンポ（地元開催）の2事業と、被災者交流総合支援事業で、PR活動の目玉と位置づけられる。直近のスケジュール的には、本理事会決議が評議会へ提出され、承認を受けての事業実施となる。さらに、この事業計画（案）及び予算（案）が白神CF協議体会議で検討及び承認され、はじめて支援開始となると考えられる。

財団独自の活動としては、来年度の公益財団法人化を目指す実務的な準備作業がある。

【理事長】事業計画としては個々の詳細な検討要するが、全体の流れとしての工程（案）である。

【大中理事】事業の番号付けは①被災者交流総合支援事業②フォーラム（東京開催）③プレシンポ（次地元開催）④“いろはす”事業（支援先選定）でよいか。④は最も財団らしい事業である。

【太田理事】④は寄附財源の一つとする。さらに支援用途について事業系（企業寄附）と一般（公募寄附）を分ける事も必要である。

【門前理事】公益財団を目指すためには、事業も公益／一般／収益等に分けて行う事や、寄附に関しては支援割合等についても定めることも必要である。

【太田理事】寄附に関する件については「知床財団」等を参考に作成して欲しい。

【理事長】本年度の事業（①②③）や活動（会則やルール、公益準備等）について、担当分けをした方が良くと思うが。

【太田理事】事業依頼は吟味して引き受けるべきであるし、現状は人手不足ではないのか。

【門前理事】特に公益を目指すのであれば専任がいるのではないか。

【太田理事】担当理事の専任は無理である。新たに雇用を考えた場合その事務経費をどうするか。

【理事長】フォーラムやシンポ、さらには被災者支援事業を PR 活動と位置づけ、寄附を募ることで賄うことは可能であると思う。

【大中理事】補助事業の活動を全面に出して寄附や支援を受けるという論理は理解できる。しかし、被災者支援事業は事業内容からみて数多くのメニューを用意することや、それを実行するスタッフがいないと無理ではないのか。

【太田理事】実際に活動している団体へコーディネートを依頼する方法も含めて、事務局がオーバーワークになること心配である。財団の目的は事業実施ではなく、基礎となる土台作りと目標額の寄附金を集めることである。

【理事長】本年度は3事業を柱に寄附を集めるという方向で進める。

【事務局】事業計画書（案）は番号をつけた文書形式で作成する。

#### ●第3号議案 平成24年度予算（案）：承認

【事務局】先に承認された本年度事業計画（案）にもあるように、財団と協議体は同じような動きをする場面が多いことから、互いに無駄が少なくなるような予算案とした。昨年度の協議体中間報告にて寄附募集は PR 活動を頻繁に行う必要があると言う指摘があった。そこで当初の計画にはなかったフォーラム開催や講演会等を盛り込むことにした。さらに、公益を目指すための準備経費も新たに盛り込んだものとした。

【太田理事】基金を100万円取り崩すということか。

【門前理事】その通りであるが、協議体と歩調を合わせるとしても、財団の PR 活動はさらなる予算付けをしたいと考える。

【太田理事】県の考え（財団の位置付）はどの程度のものか。財団への協力要請や話しはないのか。

【理事長】多方面へ働きかけているが明確な話しは未だにない。

【太田理事】民間大口（電力や原発等）からの寄附を取り付ける方策を考える必要がある。

#### ●第4号議案 評議員会招集承認の件：承認

【事務局】タイトなスケジュールとなるが事業実行のため評議会で承認を取る必要がある。

【門前理事】予定では5月1日か2日であるが、決算と予算（案）の内容で開催したいと思う。事業計画については大枠で進めたいと思うが、監査等もあるため動く可能性もある。

#### ●第5号議案 財務担当者雇用の件：継続審議

【事務局】先に承認された本年度事業計画（案）にもあるように、公益財団の準備には専任が不可欠で、それも財務等に詳しい人を雇用する必要である。

【理事長】候補者はいるが、当面フルタイムではなくパートでもよいと考えている。また、会計事務所等への外部委託という方法もあるのではないか。

【門前理事】公益財団法人化の取り組みは外部委託では難しいのではないか。まして委託費もそれなりに掛かると思う。

【理事長】さらなる人材に関する情報をお願いしたい。

#### ●第6号議案 財団会員規程について：継続審議

【事務局】会員規程の施行について

【門前理事】理事会はこの規程について承認していない。

【理事長】財団への支援としての寄附金を集める方法として考えたものである。

【太田理事】財団は会員でよいのか。さらに年会費を継続的に支払うことに対して抵抗はないのか。

【大中理事】会員への特典はあるのか。寄付者＝会員とし年という表現はなくすのはどうか。

【門前理事】寄附と会費では支払うイメージが違う。

【太田理事】これに関しても「知床財団」を参考に検討すべきだと思う。

第7号議案 その他会員証等：継続審議

【事務局】会員証は、白神山地のブナの葉をラミネート加工し、QRコードで位置や親木が確認できるようなものはどうか。例えばマザーツリー等

【理事長】峠には沢山の入山者があるため、峠の樹木を使うという方法もある。

【事務局】それぞれの峠の樹木ごとに作成する方法もある。全種類欲しい場合は寄附口数を増やせば可能になる。

【大中理事】エコリパや協議体のHPとのリンクや管理についても整理していく必要がある。

【門前理事】マークやデザインについても再度検討する必要もある。

5. 報告・依頼事項

1) パーティ会費未納(3/30請求)の件(深浦町観光協会2名):電話催促をする

2) 白神山地を題材とした歌(梅沢登美男)の件:要検討

【門前理事】梅沢登美夫氏が白神山地を題材とした歌の制作について、深浦町観光課へ申し出があり、非公式であるが打診があった。

【大中理事】演歌に限らず、いろんなジャンルでPRしてくれるのは良いと思う。

【理事長】芸能関係者との付き合いは慎重に行うべきである。

【太田理事】財団をPRしてくれるのであれば、チラシを早々に用意し配布してもらいたい。

3) 被災者交流総合支援事業(一時受入交流支援)の件:第2号議案関連:承認

【理事長】実行委員会を作る方向で進める。

4) その他

【理事長】役割分担として、被災者交流は渋谷、エコリパは太田、財団及びシンポ等は門前各理事にお願いしたい。

【門前理事】フォーラムは野口健氏で良いのであれば、理事長から連絡して欲しい。

【理事長】東京開催時は電通の盛氏や涌井史郎氏、赤池学氏などへ声掛けも必要になってくる。

6. 次回会議開催日の確認

【理事長】理事会とは言わず、理事ミーティング程度の感じで開催したらどうか。

第24-2回理事会 5月24日(木) 18:30～

7. 閉会宣言